

組合中期計画・ビジョン作成 日本刷子商工業協同組合

日本刷子商工業協同組合では、近年の人口減少、少子高齢化による人材確保や、従来の筆、ハケ、ブラシ市場の閉塞感、原材料の高騰など業界が抱える諸課題が山積し、「組合員のために何ができるのか。今後組合が進むべき方向は？」といった組合活動の存在意義が問われるなか、中央会から大阪府組合等事業向上支援事業「組合ビジョン・中期計画作成支援」の提案を受け、組合ビジョンづくりに取り組みました。

組合ビジョンは、全組合員からのアンケート調査や専門家を交えて業界を取り巻く現状や課題、組合等の強み・弱みなどのSWOT分析など、5回の検討委員会を経て策定することができましたが、何よりも、ビジョンづくりを通じて組合員の組合に対する強い思い(本音)が引き出せたことや、組合員が共通の目的に向かって活発に意見交換できたことが大きな成果でありました。

組合を取り巻く現状と課題

- (1) 組合は100年の歴史を有し、筆、ハケ、ブラシ業界の「メーカー」と「卸」で構成されており、大阪の工業用ブラシと画筆の生産量は日本一となっています。
- (2) 組合員の売上げ高は1～10億円までが多く、最近の売上高、営業利益は微増となっています。
- (3) 近年の人口減少による国内需要の縮小、価格競争の激化、並びに少子・高齢化による若手人材(技術者・職人)の不足など業界に大きな影響を及ぼすことが予想される。
- (4) 組合員企業の経営は、従来の「筆・ハケ・ブラシ」だけでは厳しく、工業用ブラシの新たな用途や市場開拓が不可欠となっており、今後、ソリューションカンパニーとして産業をどう起こしていくかが課題となっています。
- (5) 生産の殆どは中国で行っていることから、為替変動に左右されやすく、また原材料である豚、イタチ、リス等の乱獲により原材料価格が高騰しています。
- (6) 組合の新規事業として、組合員の「売り・セールスポイント」を整理し、組合員相互が利用し合える仕組みづくりを進めていく必要があります。

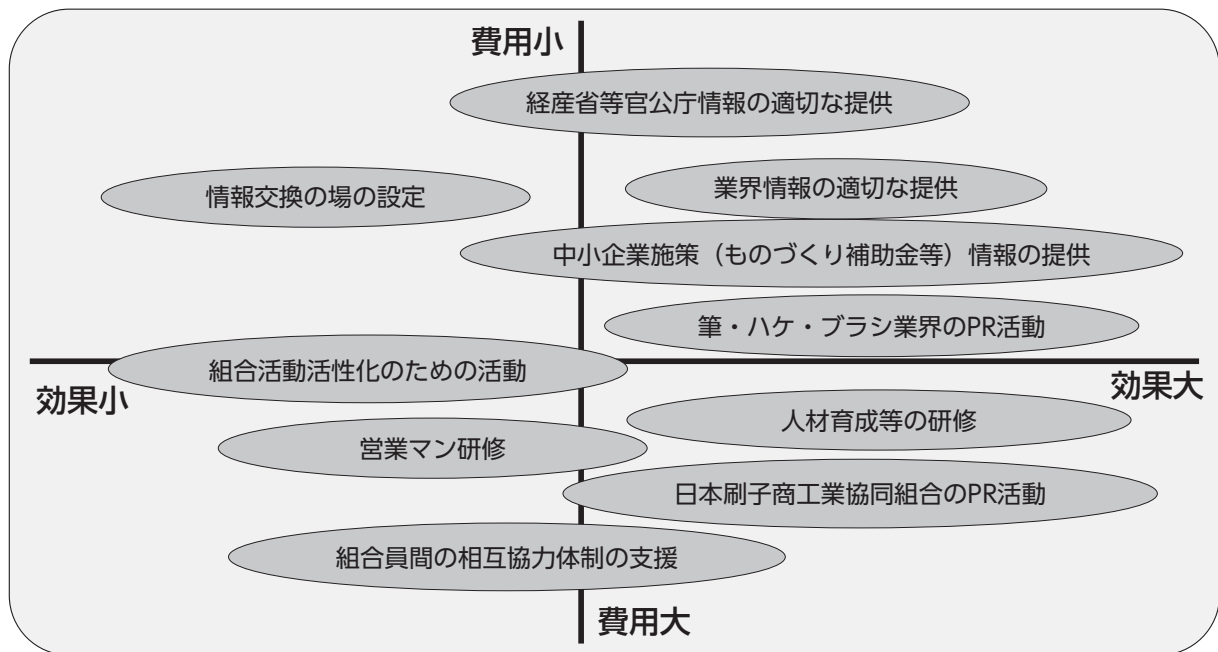
組合「理念」と「キャッチフレーズ」

組合の「理念」に基づき、「新キャッチフレーズ」を策定し、組合事業の改善に取り組み、魅力ある組合を作っていきます。

新キャッチ
フレーズ

筆・ハケ・ブラシで皆様に、
「彩」、「明るさ」、「美しさ」をお届けします
JBA

組合員の意向（アンケート結果）とポジショニング



組合2020年ビジョン

魅力ある「組合づくり」

日本刷子商工業協同組合2020年ビジョンに基づき、魅力ある「組合づくり」を行って行きます。

1. 「おかげさまで 100 周年」
2. 「筆・ハケ・ブラシ」で、皆様の生活、文化に「彩・明るさ・美しさ」を届けます
3. 「新規市場開拓」、「新規事業開発」により新たな発展をめざします

組合を取り巻く環境変化、直面する諸問題、対処シナリオをベースに、組合員にとって魅力ある組合となるため、「組合理念」、「新キャッチフレーズ」、「アンケート調査」、「ポジショニングマップ」等より、次の事業の取り組みを進めます。

◇ 筆・ハケ・ブラシ業界、及び組合の PR 活動

- 筆・ハケ・ブラシ業界の PR 活動
- 組合の PR 活動
- 奉仕活動、地域貢献等を通じた PR 活動

◇ 業界情報、経産省情報、中小企業施策情報等の適切な提供

- 業界情報の収集・選別・提供
- 経産省等官公庁情報の収集・選別・提供
- 「ものづくり補助金」等補助金、助成金の情報収集・提供

◇ 人材育成等の研修

- 経営者・管理者、技術者教育・研修
- 人材育成等の研修

◇ 仕事に関連する他業種業界とのマッチング支援

◇ 組合員各社のセールスポイントの整理と相互連携